



〒929-2378 輪島市三井町小泉上野2番地  
特別養護老人ホーム、短期入所センター、デイサービスセンター、訪問介護センター、居宅介護支援、在宅介護支援センター、配食サービス、筋力向上トレーニング

〒928-0062 輪島市堀町9字25番地  
認知症対応型通所介護、元気デイ、在宅介護支援センター、訪問入浴介護センター  
しせつの窓口（輪島市宅田町）



## 春をよぶ 曳山祭 見学



4月5日  
曳山祭見学に行ってきました。  
天候にも恵まれ、春の訪れを体感してきました。



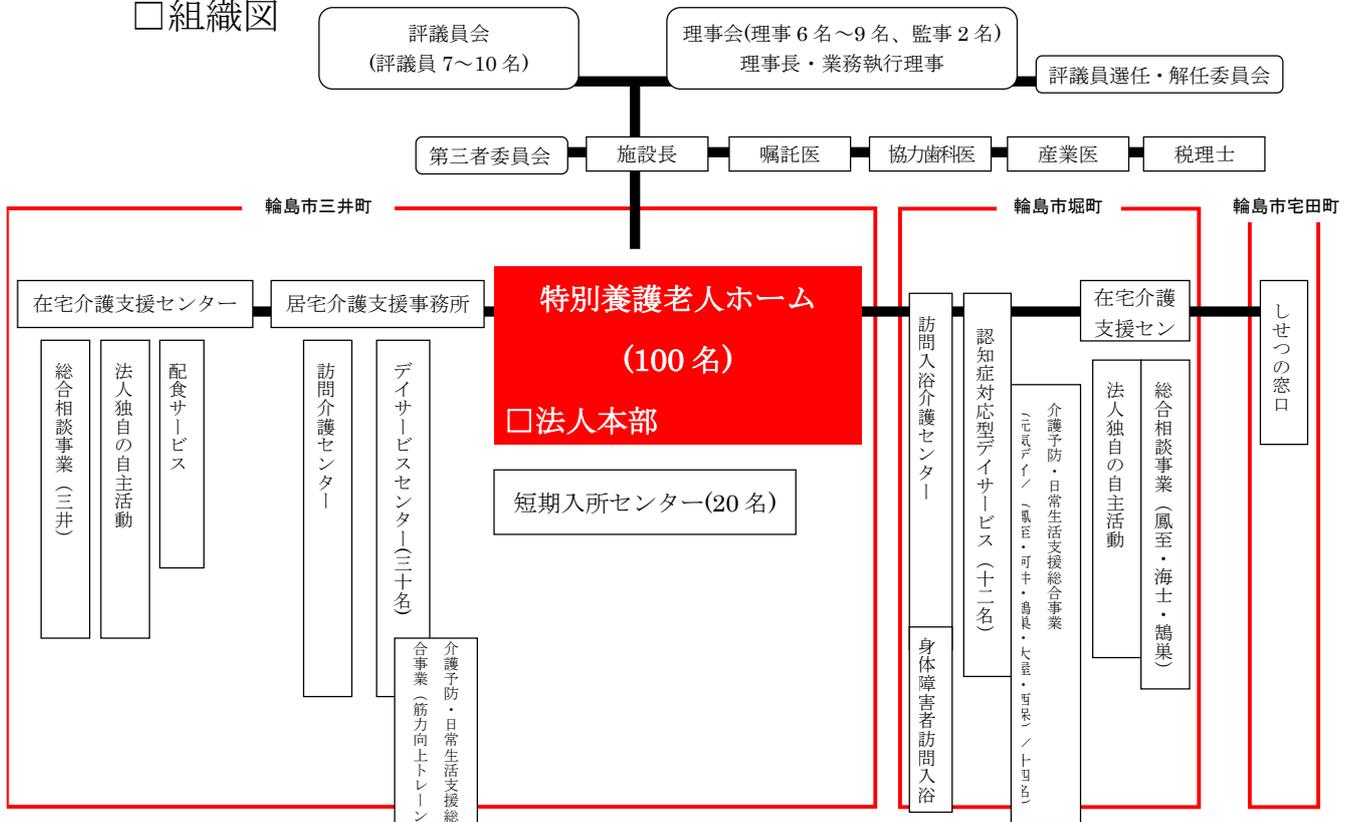
	中期計画	2017 平成29年度 ※社会福祉法改正、総合支援事業に移行
尊 厳	①プライバシーが守れる環境整備に取り組みます	①個室化の検討。 ユニット型、従来型居室、2人居室の整備検討
	②感染症対策や災害に強い施設を目指します	②地域と防災に関する協力体制や応援体制についての取り決め。
	③建物を更新しながら生活に潤いある環境整備を図ります	③あての木園(三井町) 第7期改修工事の実施。 ※昭和61年築の居室環境整備
共 生	①様々な関係機関との連携を図りながら、地域の実情にあった福祉サービスを提供します	①総合相談窓口(輪島市委託)、健康づくり教室、介護教室、除雪応援隊、映画上映会、認知症カフェ(法人自主活動)の運営。運動器の機能向上プログラム、入浴等日常動作訓練・趣味活動支援サービスの実施(法人自主活動)
	②輪島市内の社会福祉法人等との連携を図りながら、安心して住み続けられるような地域社会となるように協働して総合相談事業の継続をします。	②しせつの窓口(宅田町)の運営と各法人等に協力依頼を継続(8月1日で2周年)
	③地域密着型サービスや住まいの提供など検討します	③認知症対応型デイ及び元気デイの安定的な運営を図る。住まいの提供について検討。(三井町)
向 上	①自立支援介護(食事・運動・排せつ・水分の基本ケア)を継続して取り組み、在宅復帰ができるよう支援します	①常食化、水分ケアは平均1,300ml、排せつ誘導、立位保持、歩行訓練を行います。
	②安らかで不安のない看取りケアに取り組みます	②客観的な状況把握をしながら、適切な看取り期の判断、適切な看取りケアの実践。偲びのカンファレンスで評価をします。
	③他職種協働・情報共有・職種間連携・法令順守	③サービス担当者会議、定例ケース検討会、食事に関する検討会を通し、他職種協働・情報共有・職種間連携を行います。また、常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保障、体罰等の禁止、人権尊重に取り組みます。
	①法人理念の実現に向けた業務・研修・組織の見直しを行います	①業務改善、職場内研修の工夫を行います。また、社会福祉法改正に伴う法人組織の見直しも行います。
	②機能訓練指導員、管理栄養士、歯科衛生士を配置します	②ハローワーク、法人HP、就職面接会等を通して募集します。
	③過疎地のため人材確保が困難な状況ですが、職員の待遇改善や資格取得助成などに取り組み働きやすい労働環境に取り組みます	③資格取得助成金交付要綱、介護職員等の処遇改善に関する規程、就業規則、臨時職員就業規則等の見直しを行い働きやすい環境を整備していきます。また、介護や子育てをしている職員及び臨時職員の働きやすい環境整備にも取り組みます。
	④福祉機器や介護ロボットを積極的に導入・活用を図り重介護の軽減を図ります	④福祉機器及び介護ロボットに関する情報収集や勉強会を開催し介護負担の軽減を図ります。

事業計画

□特別養護老人ホーム

中期計画	事業目標	介護	看護	栄養	歯科衛生士	支援専門員	生活相談員
①自立支援介護 (食事・運動・排せつ・水分の基本ケア)を継続して取り組み、在宅復帰ができるよう支援します	①常食化、水分ケアは平均1,300ml、排せつ誘導、立位保持、歩行訓練を行います。	基本ケアを継続しADLの向上に取り組む	疾病を考慮し、その人らしさの実現を目指した自立支援に取り組む	食事形態の見直し、利用者合った食事や水分の提供に取り組む	常食化に向けて咀嚼機能、嚥下機能の向上に取り組む	自立支援の視点に立ったケアプランの策定に取り組む	車いすで座位保持できる方は基本的にトイレ誘導が可能のため、日中のトイレ排便に取り組む
②安らかで不安のない看取りケアに取り組みます	②客観的な状況把握をしながら、適切な看取り期の判断、適切な看取りケアの実践。偲びのカンファレンスで評価をします。	適切な看取りケアに取り組む	利用者の思いを尊重し、家族の希望に添えるような看取りケアに取り組む	看取り期における食事提供の工夫に取り組む	口腔ケア用品を準備し、口腔内の清潔に取り組む	適切な支援が行えるように取り組む	利用者の思いと家族の思いが尊重できる看取りケアに取り組む
③他職種協働・情報共有・職種間連携・法令順守	③サービス担当者会議、定例ケース検討会、食事に関する検討会を通し、他職種協働・情報	会議や検討会により協働・情報共有・連携に取り組む	法人理念に基づき他職種と情報共有・連携し職員が共に成長していけ	嚥下困難者に対し他職種協働で食事提供に取り組む	咀嚼、嚥下機能の把握に努め、他職種でカンファレンスし、咀嚼	情報共有しながらケアプランを策定し、モニタリングを通して適切な	有意義な情報交換や情報共有により質の高いサービス

□組織図



## 善意の寄附



輪島・穴水地域ライフサポートセンター赤田実会長、北陸労働金庫輪島支店 滝利光支店長が来園され、あての木園に車椅子1台寄附されました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



## 職員の自主勉強会



各事業所が普段取り組んでいる事例や自立支援につながった事例などの発表、職員が組織している委員会（事故対策、苦情処理、褥瘡予防、拘束検討・虐待防止、感染症対策）の実践発表が2月から3月にかけて行われました。

サービスの質を維持又は向上するために日々努力をしております。

発生してから10年となった能登半島地震。さる、3月24日に輪島市社会福祉協議会が主催する地域の方を対象とした防災訓練に参加しました。避難所運営ゲーム（HUG）では刻一刻とかわる状況に対応していかなければならず、その判断についても適切に行わなければならない難しさを体験しました。数名の職員しか参加できませんでしたが、このような研修会に参加を促していきたいと思いま



## 救急救命講習会

年2回 4月と10月に輪島消防署にて救急救命の講習会を受けております。救急救命士からAEDの使い方、胸骨圧迫、救急要請の注意点などの指導を受けました。（4月20日）

ご意見やご要望をお寄せ下さい

電話（0768）26-1661・ファックス（0768）26-1751

メール [atenoki@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:atenoki@skyblue.ocn.ne.jp)